- 【コントロール(制御)ファイル、SPFILE、データファイル、アーカイブログ のリストアとリカバリ】
  - オンライン REDO ログ・ファイル以外のすべてのファイルに障害が発生し た場合の対応方法 (バックアップから戻すリストア手順)

# ――コントロール(制御)ファイルの障害が含まれる――

起動時に、ORA-01078 failure in processing system parameter が出力 (SPFILE エラー)

## SPFILE のエラー

SPFILE に問題が発生すると、エラー・メッセージが??????となってしまう

手順1.

完全にシャットダウンを行う

### SHOUTDOWN IMMEDIATE

#### SHOUTDOWN ABORT

手順2.

バックアップしてあるファイルからリストア (コピー) する

- SPFILE
- ・コントロール(制御)ファイル(多重化してある全ファイル分)
- ·表領域
- ・アーカイブ Redo ログ・ファイル
- ・オンラインRedo ログ・ファイル
- ※ どのファイルのリストアが必要かは、STARTUP コマンド発行時のエラー・メッ セージ出力より、順次判断する必要がある

手順3.

データベースをマウント状態で起動する

sqlplus /nolog

## conn ユーザー名/パスワード@接続識別 as sysdba

- ※ Oracle インスタンス未起動時は、Oracle ユーザーでの接続は出来ないので、 OS ユーザー認証で接続を行う
- conn / as sysdba

#### STARTUP MOUNT

#### 手順4.

リカバリ処理を行う(アーカイブ REDO ログとオンライン REDO ログの適用) RECOVER DATABASE USING BACKUP CONTROLFILE UNTIL CANCEL;

> ※ USING BACKUP CONTROLFILE は、コントロールファイ ルをリストアして戻した時に使うオプション

ログの指定: |<RET>=suggested | filename | AUTO | CANCEL | AUTO

キー入力して続行させる

ORA-01194: ~~~~~~さらにリカバリが必要です と表示されて終了された場合

RECOVER DATABASE USING BACKUP CONTROLFILE UNTIL CANCEL;

ログの指定:|<RET>=suggested | filename | AUTO | CANCEL |

<u>オンライン REDO ログ・ファイルのファイル名を入力する</u>(更新日時の古い順に指定) /app/oracle/oradata/ora10g/redo01.log

※「メディアリカバリが完了されました」と表示されるまで繰り返す

※ RECOVER コマンドでのオンライン Redo ログの適用は、1回のコマン ド処理では1個のみなので、オンライン Redo ログを複数個適用する場合 は、RECOVER コマンドを繰り返す 制御ファイルをリストアした時は、
リカバリを行うためには、RECOVER DATABASE
USING BACKUP CONTROLFILE UNTIL CANCEL
の指定を行う必要がある。
詳細は、Oracle バックアップ・リカバリ実践テクニック

手順5.

データベースをオープンする

ALTER DATABASE OPEN ;

もしくは、

ALTER DATABASE OPEN NORESETLOGS ;

もしくは、

ALTER DATABASE OPEN **RESETLOGS** ;